

科目名 (Eng)		工業英語 I (Technical communication I)							
担当教員		柴田 公彦							
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目
	物質工学科	4	後期	必修	1	(30)	専門	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-5)．(F-4)．(F-5)．(F-6)．								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2)．6)．								
	JABEE基準1(1)との対応：(d)-(2)-d)．(f)．				JABEE推奨科目				
授業の概要と方針		基本的な化学に関する英文を読解しながら重要な語句や表現を学習して行く。また、使用頻度の高い化学用語や基本文型を反復履修する。							
到達目標		①基本的な文法を理解し、英文を正しく理解できる。 ②化学英語特有の用語・表現をできるだけ多く習得し、簡単な化学英文を読解できる。							
授業計画									
	週	授業項目		理解すべき内容			事前学習		
後期	16	General Science(1)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習			事前に授業プリントを配布するので、単語の意味を調べておくこと		
	17	General Science(2)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	18	General Chemistry(1)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	19	General Chemistry(2)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	20	Inorganic Chemistry and Physical Chemistry (1)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	21	Inorganic Chemistry and Physical Chemistry (2)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	22	中間試験					第16～21週の復習しておくこと		
	23	Inorganic Chemistry and Physical Chemistry (3)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習			事前に授業プリントを配布するので、単語の意味を調べておくこと		
	24	Inorganic Chemistry and Physical Chemistry (4)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	25	Organic Chemistry and Polymer Chemistry(1)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	26	Organic Chemistry and Polymer Chemistry(2)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	27	Organic Chemistry and Polymer Chemistry(3)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	28	Biochemistry (1)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	29	Biochemistry (2)		内容把握、化学用語の習得、文法事項の復習					
	30	まとめ		期末試験の解説 第16～29週の学習事項の復習			第23～29週の復習しておくこと		
試験について		50分の期末試験を実施する。							
評価方法		中間試験と期末試験の成績を70%、課題演習の成績を30%として評価する。							
教科書		プリントを使用する。							
参考書		工業英検3級対策、日本工業英語協会、日本能率協会マネジメントセンター							
関連科目		工業英語Ⅱ							
履修上の注意		まずは化学英語になれることが大切である。英文の専門書や文献に接し、その中から英語の基本的な表現法を学ぶ。授業時間ごとの予習、復習を忘れないこと。自学自習の確認方法―課題プリントを学生に配布し、その範囲に関する小テストを行う。							